

目次

Table of Contents	1
1.1 はじめに	3
1.2 このマニュアルの特徴	4
1.3 安全情報	4
Chapter 2 Introduction to This Motherboard	5
2.1 マザーボードの様子は?	5
2.2 規格	6
2.3 ブロックダイアグラム	7
Chapter 3 Hardware Installation	8
3.1 迅速なインストール手続き	8
3.2 インストール	9
CPUのインストール	9
CPUクーラーのインストール	10
CPUとシステムのファンのインストール	11
メモリ・モジュールのインストール	12
2重チャンネルの性能を最大化する	13
IDEとフロッピーのケーブルの接続	14
前パネル・ケーブルの接続	15
ATX電源ケーブルの接続	16
3.3 他のインストール	17
CPU電圧と周波率のセット	17
シリアルATAの接続	18
ハードディスクのセットの調節	19
PCI Express x16 Graphicsスロットの接続	21
IrDAの接続	22
ゲームポートの接続	23
ギガビットLANに支援	24



USB2.0の接続.....	25
1394の接続.....	26
スーパー7.1チャンネルの音声効果.....	27
前音声の接続.....	28
CD_INの接続.....	29
COM2の接続(i915Ga-PLFのみに).....	30
Case Openの接続.....	31
S/PDIFの接続(Sony/Philips Digital Interface).....	32
Colored Coded Back Panel (for i915Ga-PLF).....	33
Colored Coded Back Panel (for i915Pa-PLF).....	34
LED Indication.....	35
3.4 Jumper Settings.....	36
Chapter 4 Special Features and Utilities.....	37
4.1 他の有用な機能.....	37
Chapter 5 Setting BIOS.....	38
5.1 紹介.....	38
5.2 How To Use Phoenix-Award™ BIOS Setup Program.....	39
5.3 BIOS settingアップに入る方法.....	39
5.4 Definition of Power Master.....	40
5.5 BIOS Upgrade under Windows environment.....	43
5.6 Vivid BIOS technology.....	45
Chapter 6 Installing Drivers.....	46
6.1 Installing Drivers.....	47
6.2 Installing Utilities.....	48
Chapter 7 Troubleshooting.....	49

1.1 はじめに

Aopen製品をお買い上げいただきありがとうございます。このマザーボードは我社の最大工業設計能力と我社の全製品の品質に対する永続的な固執であなたの個人需要を満たして設計したものです。

このマニュアルはこのマザーボードのインストール方法をご紹介します。将来の参照のためにそれをよく保存してください。我社のWebサイト <http://www.aopen.com> より最新版のファイルをダウンロードすることもできます。

このAOpen製品が提供する優れる機能とこのユーザー・フレンドリーなマニュアルをお楽しみにしてください。

AdobeとAcrobatのロゴはAdobe Systems Incorporatedの登録商標です。

AMD、AthlonとDuronのロゴはAdvanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。

Intel、Intel Celeron、Pentium II、III、Pentium 4とPentium MのロゴはIntel Corporationの登録商標です。

nVidiaのロゴはnVidia Corporationの登録商標です。

Microsoft、Windowsのロゴは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

このマニュアルで言及したすべての製品名と商標は説明の目的であり、それぞれ各社に所有していません。

使用法の標準および他の関連情報の変更に関して通知しないことをご了承ください。Aopenはこのマニュアルの内容を変更か修正する権利を留保します。製品上のもを含んでいる誤りあるいは正しくない記述がある場合、Aopenは保証または担保をしません。

このドキュメントは著作権法に基づき、我社を保護し、かつ権利をすべて留保します。

AOpen署名した正式な書面許可がある場合を除き、任意データ・ベースおよびメディアでこのパンフレットを複写とロードすることはできません。

1996-2004 Copyrights, AOpen Ltd. All rights reserved.

1.2 このマニュアルの特徴

このマザーボードの有用な情報をつかみ、あなたが知るはずの状況を理解するために、頻繁下のアイコンを見るでしょう：



注意

組み立てる過程で知るはずの知識、あるいは有用な秘訣を含んでいます。



警告

このマークを見るときにご注意してください。それは組立過程でよく発生する誤り、あるいは注意を払う必要のあるものを強調します。



秘訣

この秘訣は、インストールを順調にさせる有用な情報を教えます。

1.3 安全情報



コンポーネントを扱う前に、手首革ひもを着用し、システム・ユニットの金属部分にそれを付けてください。あるいは接地するか金属表面であるものに触れることもできます。



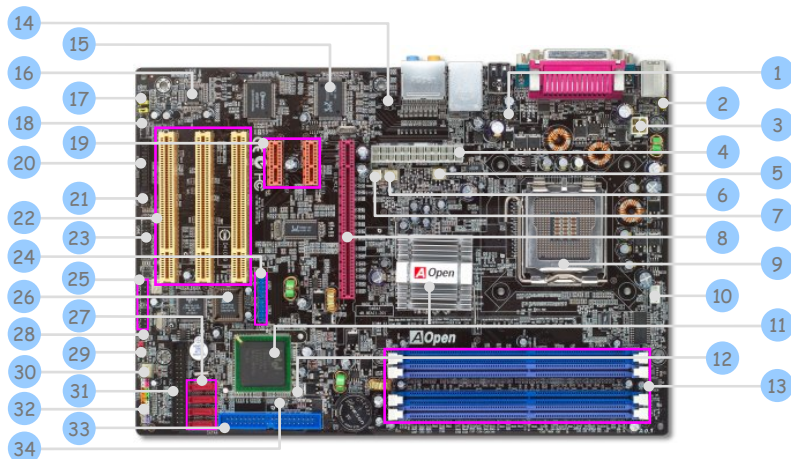
ジャンパーセットを行なう前に、かならず電源のプラグを抜いてください。



マザーボードでコンポーネントをインストールか削除する前に、マザーボードあるいは他のコンポーネントを破損しないように、まず電源を切ることを確かめてください。

第2章 このマザーボードの紹介

2.1 マザーボードの様子は?



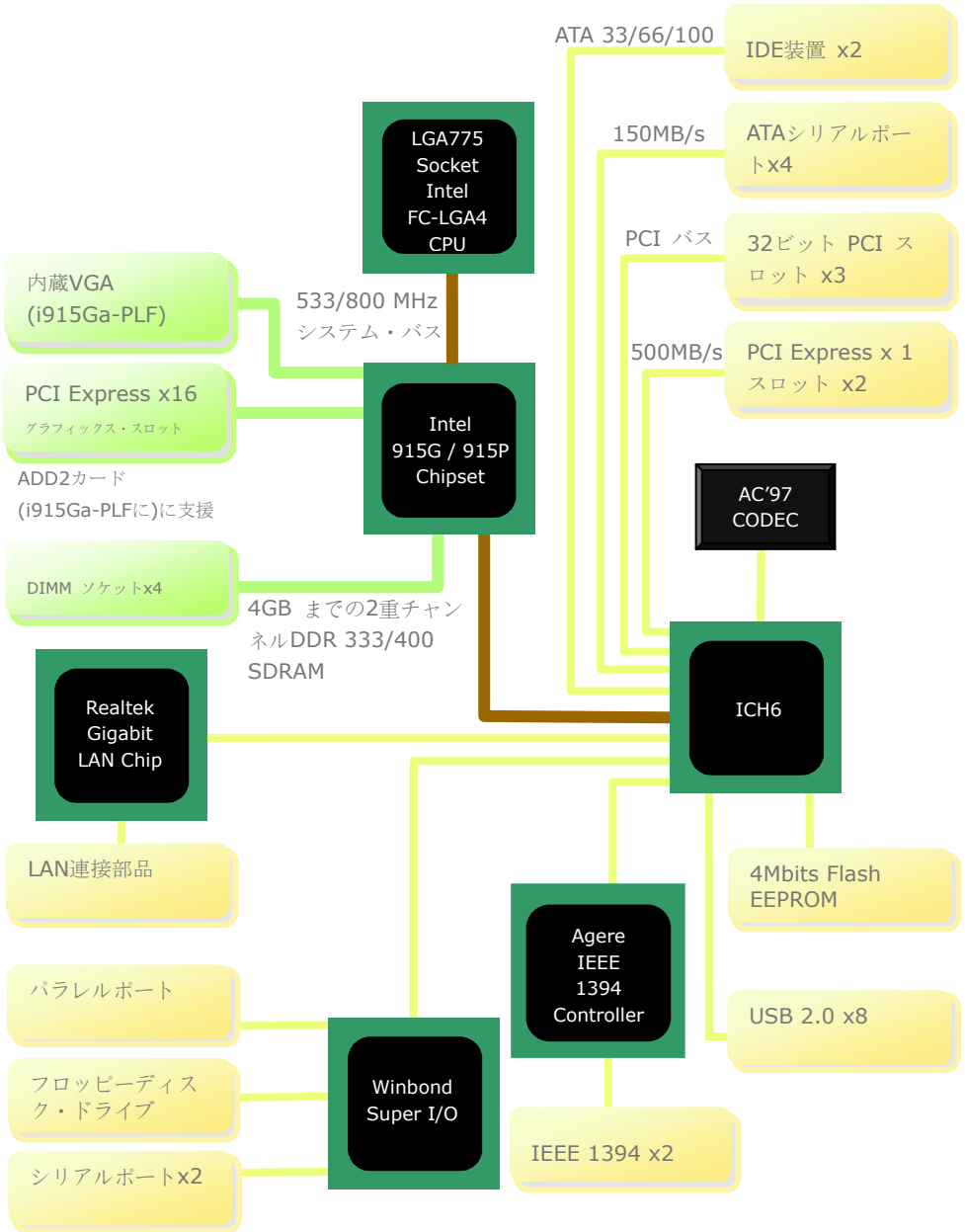
1. COM2 コネクタ	18. S/PDIF コネクタ
2. JP28 PS2 KB/マウス・ワークアップ・ジャンパー	19. PCI Express x1 スロットs X 2
3. 4-ピン 12V ATX 電源 コネクタ	20. 黒ジャック・コネクタ
4. ATX 電源 コネクタ	21. IRDA コネクタ
5. SYSFAN1 コネクタ	22. 32ビットPCI Expansion スロットs X 3
6. PWRFAN コネクタ	23. ゲーム・コネクタ
7. 電源 温度 コネクタ	24. USB 2.0 コネクタs X 2
8. PCI Express x16 Graphicsスロット	25. IEEE 1394 コネクタ X 2
9. Intel FC-LGA4 CPUに支援するLGA775 CPUソケット	26. DieHard BIOS Lite
10. CPUFAN コネクタ	27. 直列 ATA ポート X 4
11. Intel 915G / ICH6 (i915Ga-PLF) Intel 915P / ICH6 (i915Pa-PLF)	28. ケース開けるコネクタ
12. STBY LED	29. JP14 CMOS データ消すジャンパー
13. 184-ピン DIMMs x 4	30. SYSFAN2 コネクタ
14. CD_IN コネクタ	31. FDD コネクタ
15. Realtek Gigabit LAN チップ	32. 前パネル・ネクタ
16. Realtek AC'97 CODEC	33. ATA100 コネクタ
17.前音声コネクタ	34. ブートLED

2.2 規格

次の表は、あなたのマザーボードの主要な機能を示したものです。

モデル	i915Ga-PLF	i915Pa-PLF
CPU	Intel FC-LGA4 CPU Socket T 800MHz	Intel FC-LGA4 CPU Socket T 800MHz
チップセット	Intel 915G/ICH6	Intel 915P/ICH6
メモリー	2重チャンネル・モードのDDR DDR 333/400 DDR DIMM x 4 DIMMタイプ：128/256/512MBと1GB 最大メモリー：4GB	2重チャンネル・モードのDDR DDR 333/400 DDR DIMM x 4 DIMMタイプ：128/256/512MBと1GB 最大メモリー：4GB
Graphics	チップセットでの統合VGAエンジン PCI Express x 16 GraphicsスロットにサポートするADD2 card	PCI Express x 16 Graphics スロット
IDE	統合ATA100とシリアル ATAコントローラー 最大ディスク：144,000,000GB[48ビット LBA規格で]	統合ATA100とシリアル ATAコントローラー 最大ディスク：144,000,000GB[48ビット LBA規格で]
LAN	RealtekギガビットPCI LANチップ	RealtekギガビットPCI LANチップ
Sound	内蔵AC'97コーデック復号器 7.1 チャンネルとその以上にサポート	内蔵AC'97コーデック復号器 7.1 チャンネルとその以上にサポート
USB	チップセットに統合した、USB 2.0 x 8	チップセットに統合した、USB 2.0 x 8
IEEE 1394	Agere 1394 制御 チップ	Agere 1394 制御 チップ
スロットs	PCI Express x 1 スロットs x 2 PCI Express x 16 graphics スロット x 1 PCI スロットs x 3	PCI Express x 1 スロットs x 2 PCI Express x 16 graphics スロット x 1 PCI スロットs x 3
後パネル I/O	PS/2 キーボード x 1、 PS/2 マウス x 1 USBポート x 4、LANポート x 1、VGAポート x 1 COMポート x 1、 プリンター・ポート x 1 Speaker_Out x 1、 Line_In x 1、MIC_In x 1 側SUR x 1、 後SUR x 1 Center/Subwoofer x 1	PS/2 キーボード x 1、 PS/2 マウス x 1 USBポート x 4、LANポート x 1 COMポート x 2、プリンター・ポート x 1 Speaker_Out x 1、 Line_In x 1、MIC_In x 1 側SUR x 1、 後SUR x 1 Center/Subwoofer x 1
内蔵コネクタ	フロッピー・ドライブ・コネクタ x 1 IDE チャンネル： ATA100 x 1 シリアルATAチャンネル x 4 前パネル x 1 前音声 x 1 CPUファン x 1、システム・ファン x 1、 シャーシー・ファン x 1 電源ファン x 1 電源温度コネクタ x 1 Case Openコネクタ x 1 CD_IN x 1、 IrDA x 1、 S/PDIF x 1 COM2 x 1 ゲーム コネクタ x 1 IEEE 1394 x 2 USB2.0コネクタs x 2	フロッピー・ドライブ・コネクタ x 1 IDE チャンネル： ATA100 x 1 シリアル ATA チャンネル x 4 前 パネル x 1 前 音声 x 1 CPUファン x 1、システム・ファン x 1、 シャーシー・ファン x 1 電源ファン x 1、 電源温度コネクタ x 1 Case Openコネクタ x 1 CD_IN x 1、 IrDA x 1、 S/PDIF x 1 ゲーム・コネクタ x 1 IEEE 1394 x 2 USB2.0コネクタs x 2
BIOS	Award PnP 4Mb Flash ROM BIOS	Award PnP 4Mb Flash ROM BIOS
Board寸法	305 mm x 210 mm	305 mm x 210 mm

2.3 ブロックダイアグラム



第3章 ハードウェアのインストール

3.1 迅速なインストール手続き



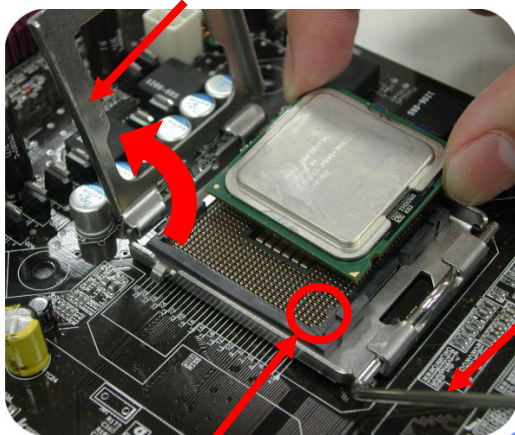
3.2 インストール

CPUのインストール

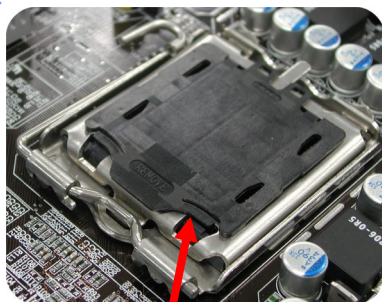
このソケットはIntel が開発した最新CPUパッケージのFC-LGA4 CPUに支援します。他のCPUパッケージ形式は入られません。

1. CPUソケット・レバーとプレートを引き上げてください。
2. CPUソケット・レバーよりプラスチック蓋を外します。
3. ソケットのピン1を置き、CPUの上部インターフェース上の金矢を捜してください。ピン1と金矢と合わせ、CPUをソケットに挿入してください。
4. CPUソケット・プレートとレバーを下へ押しよりCPUのインストールを終了します。

CPUソケット・プレート



ソケット・ピン1



プラスチック蓋

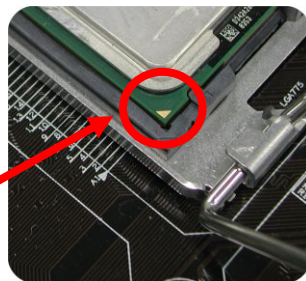
CPUソケット・レバー



警告: CPUソケット・ピン1とCPUの金矢とよく一致しなければ、CPUを破損するおそれがあります。尚、CPUを設置するときに、CPUソケット・ピンに触れないでください。



注意: プレスコットのCPUより生成する過剰熱を回避するために、温度ペーストを適切に使用することをIntelよりお勧めします。



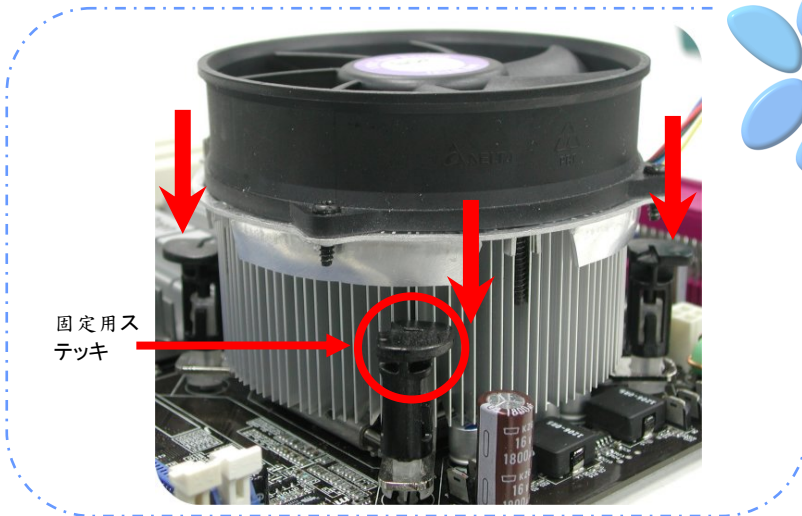
金矢

CPUクーラーのインストール

1. 正確的に4つ乗る穴にねらう4つステッキで、優しくCPUファンをCPUソケットに置いて下さい。



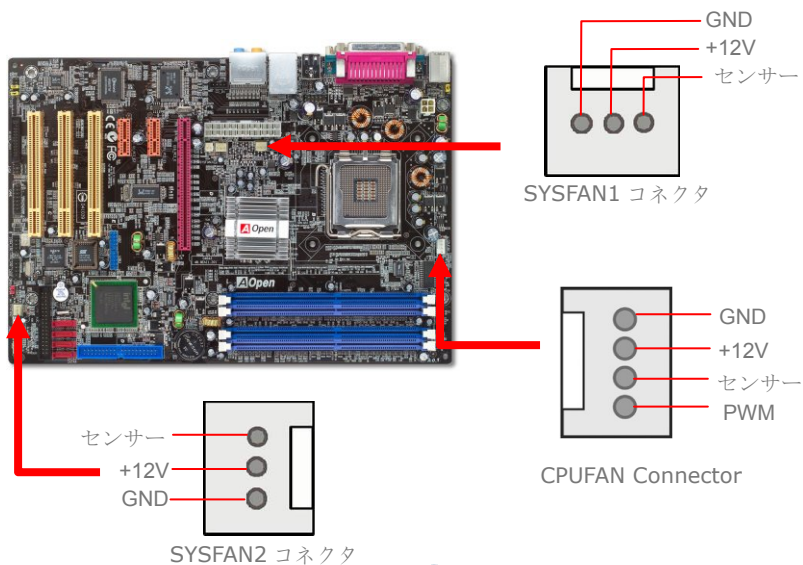
2. 穴へ1つつず、4本の固定用ステッキを下へ押してください。ステッキが穴へ堅く固定したことを確かめてください。



注意：この写真はあなたが購入した製品と違う可能性があります。

CPUとシステムのファンのインストール

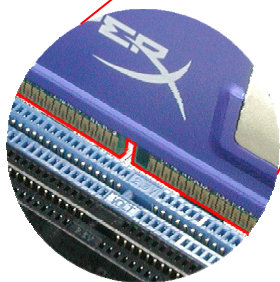
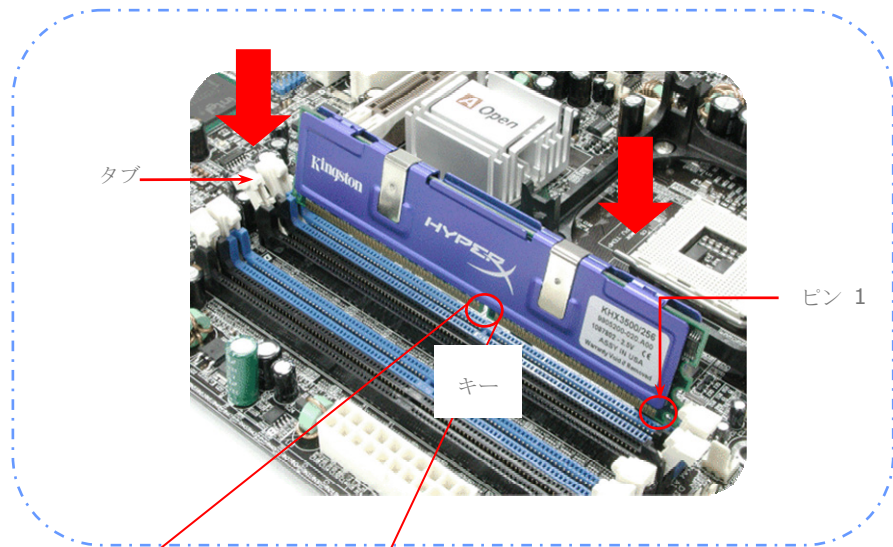
CPUファン・ケーブルを4ピンCPUファン・コネクタにプラグを挿し込んでください。シャワーファンがある場合、SYSFAN1或はSYSFAN2 コネクタにプラグを挿し込むこともできます。



注意: あるCPUファンはセンサーピンが無いので、それらはファン監視に支援できません。

メモリ・モジュールのインストール

DIMMスロットは海軍青と電子青で設計したので、容易に認められます。両方の手でモジュールをDIMMスロットまで直接に挿入し、DIMMモジュールが安全に設置されたまで下へ強く押ししてください。



注意: DIMMがスロットの底に接するとき、DIMMを適所で設置するためにDIMMスロットのタブ

2重チャンネルの性能を最大化する

2重チャンネルの最大性能を獲得するために、DIMMのコンフィギュレーションは必ず下の状況を満たすものとします。

各チャンネルで一致したDIMMコンフィギュレーション

- 同じの容量 (128MB~1GB)

チャンネル 1 (DIMM A1とDIMM A2)とチャンネル2(DIMM B1とDIMM B2)に同じ容量のメモリ・モジュールを挿入すると、2重チャンネル・モードは可能に成ります。

DIMM A1 + DIMM A2 = DIMM B1 + DIMM B2

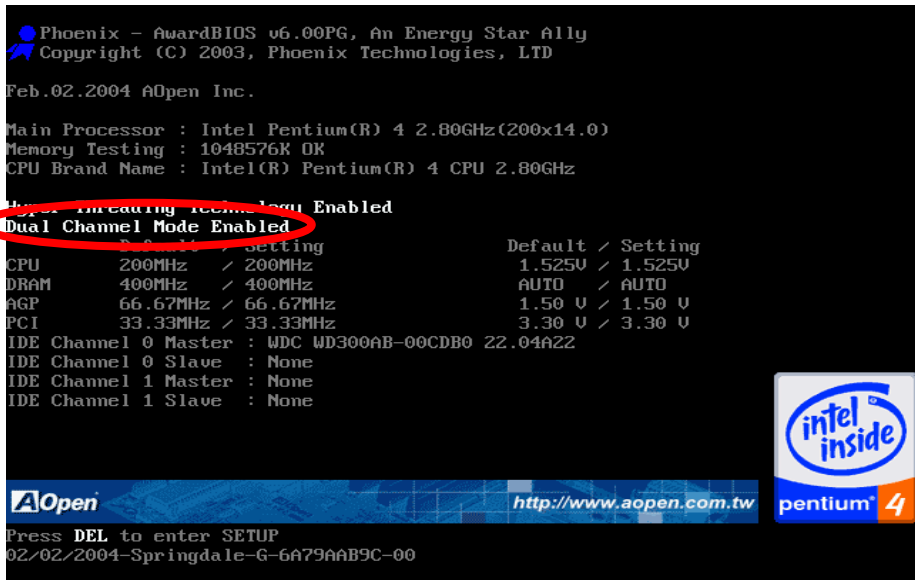
例えば：DIMM A1とDIMM A2に1GBメモリ・モジュールを挿入する場合、2重チャンネル・モードはDIMM B1 + DIMM B2 = 1GBのときに、可能に成ります。

- 同じのDRAMバス幅(x8あるいはx16)
- 片側あるいは両側



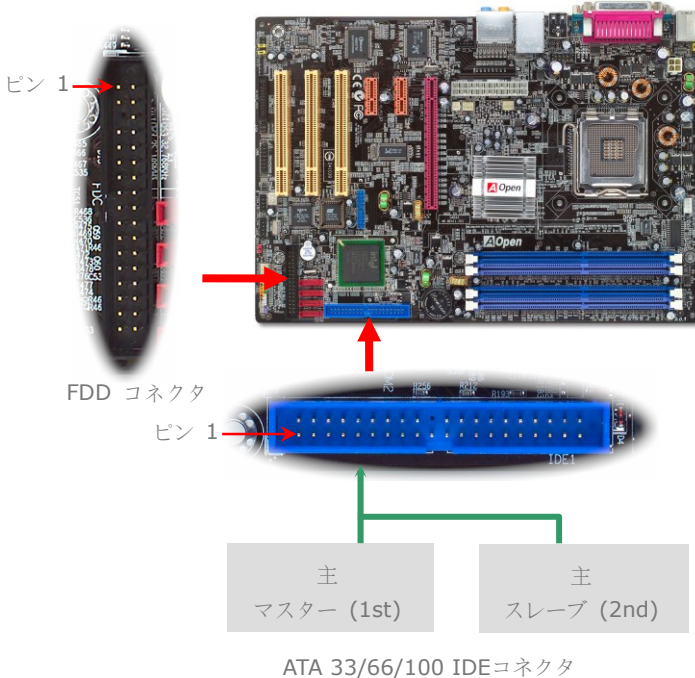
注意： 違うチップのメモリ・モジュールを使うのはシステムに不安定を起こるかもしれません。

2重チャンネル・モードは成功に可能にしたら、POST画面に入るときに画面には“Dual Channel Mode Enabled”が見えます。



IDEとフロッピーのケーブルの接続

34ピン・フロッピー・ケーブルと40ピンを接続し、80ワイヤーIDEケーブルをフロッピー・コネクタ FDDとIDEコネクタに接続します。ピン1方向を注意してください。不当な方向はシステムに破損を起こるおそれがあります。



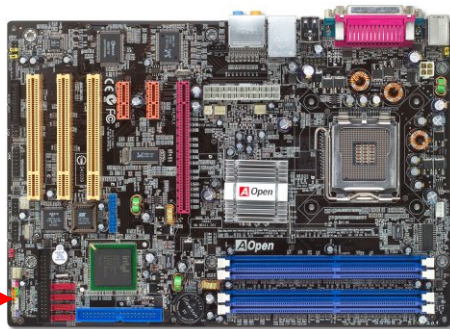
前パネル・ケーブルの接続

電源LEDとスピーカーを付け、スイッチコネクタを相当ピンにリセットします。BIOS設定で“Suspend Mode”を可能にする場合、ACPIと電源LEDはシステムがサスペンド状態あるときに点滅しています。

電源スイッチケーブルをATXハウジングから置きます。それがわく前パネルである2ピンの雌コネクタです。このコネクタをSPWR で付けるソフト電源スイッチコネクタに挿し込んでください。

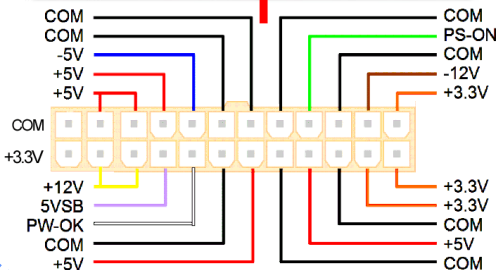
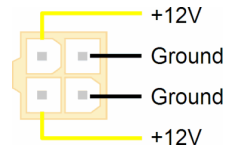
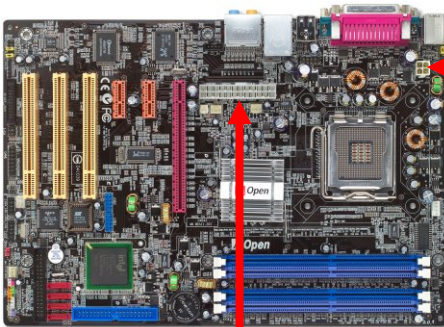
	1		
NC	○	○	電源スイッチ
NC	○	○	GND
+5V	○	○	電源LED-
HDD LED	○	○	GND
HDD LED	○	○	電源 LED+
+5V	○	○	NC
+5V	○	○	GND
GND	○	○	GND
NC	○	○	リセッ
スピーカー	○	○	GND

前パネル・コネクタ

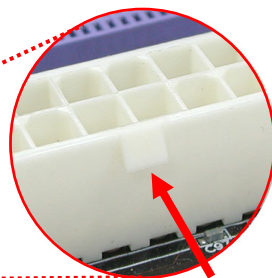
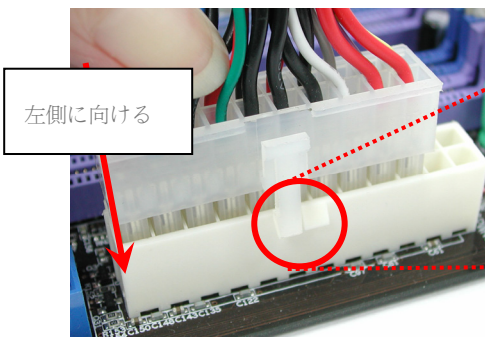


ATX電源ケーブルの接続

このマザー・ボード は下のような24ピンと4ピンのATX電源 コネクタに付属しています。正しい方向へ挿入したことを確認してください。24ピンコネクタを接続する前に、必ず4ピンコネクタを挿入してください。



注意：図のように、フル・プルーフな設計があなたに面する場合、24ピンATX電源コネクタの**左側**に電源プラグをを向けてください。



フル・プルーフ

3.3 他のインストール

CPU電圧と周波率のセット

CPU核電圧のセット

このマザー・ボードは電源入れているときに自動的にCPU電圧を監視する電圧ID (VID) 機能に支援します。CPU核電圧をセットする必要がありません。

CPU周波数のセット

このマザー・ボードはジャンパー・レスの設計で、BIOSの1MHz 速度のCPUオーバークロックよりCPU周波数をセットできます。CPU核周波数 = CPU FSBクロック × CPU 比率。しかしながら、今市場で売っているすべてのCPUは「固定乗数」に属します。ユーザはCPU比率を調節できず、ただCPU FSB時計を変更するよりオーバークロックに達成します。

BIOS設定 > 周波数 / 電圧コントロール > CPU速度設定

(ユーザは自分の責任において、必ずお読み下さい!!)

CPU 比率	8x, 10x... 24x, 25x, 26x, 27x, 28x
CPU FSB (手動調節)	FSB = 100MHz-250MHz by 1MHz Stepping CPU Overclocking

プロセッサ番号	プロセッサ周波数	FSB	CPU比率	キャッシュ
5 系列				
570	3.80G	800MHZ	19x	1MB L2
560	3.60G	800MHZ	18x	1MB L2
550	3.40G	800MHZ	17x	1MB L2
540	3.20G	800MHZ	16x	1MB L2
530	3.00G	800MHZ	15x	1MB L2
520	2.80G	800MHZ	14x	1MB L2
3 系列				
350	3.20G	533MHZ	24x	256K L2
345	3.06G	533MHZ	23x	256K L2
340	2.93G	533MHZ	22x	256K L2
335	2.80G	533MHZ	21x	256K L2

Note: With CPU speed changing rapidly, there might be faster CPU on the market by the time you received this installation guide. This table is kindly for your references only.



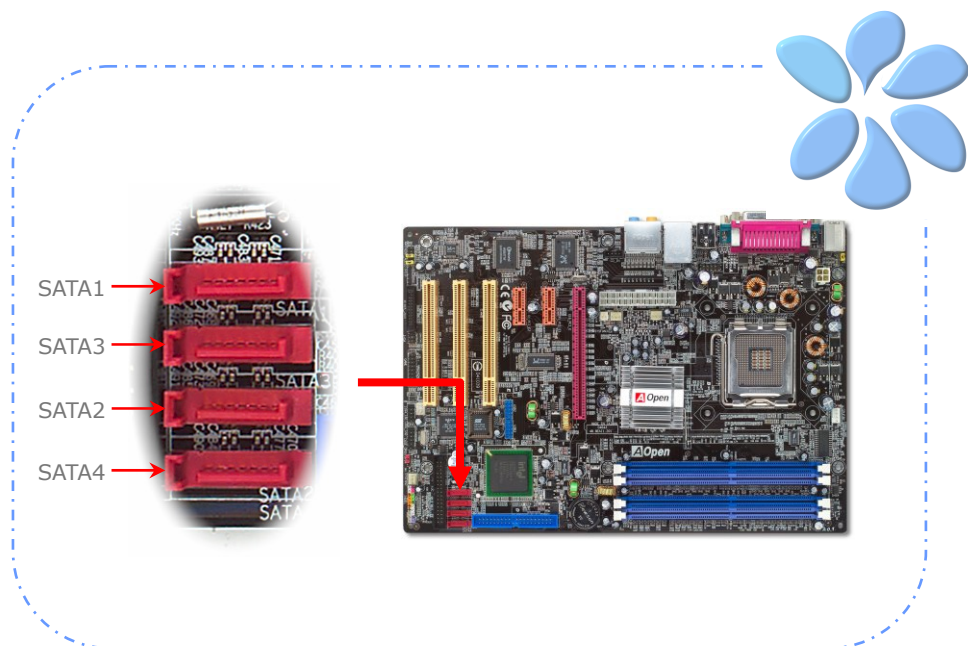
警告: Intel 915G / 915p チップセットは800MHz (200MHz*4)までの システム・バスにサポートします; より高いクロック設定は重大なシステム損害を起るおそれがあります。



注意: あるCPUファンはセンサーピンがないので、ファン監視機能に支援しません。

シリアルATAの接続

シリアルATAディスクを接続するために、あなたは7ピンシリアルATA ケーブルをあるはずです。そのシリアルATAケーブルの両端をマザー・ボードとディスクのシリアルATAヘッダーに接続してください。各従来のディスクのように、あなたも電源ケーブルを接続しなければなりません。ジャンパーのない実装があるので、ジャンパーを主か副ディスクに定義することは必要がありません。シリアルATAハード・ディスクがシリアルATAポートにインストールしている場合、SATA1に接続しているのは自動的に第一ブート装置にセットします。この機能で、ホット・プラグをサポートしないことにご注意ください。



ハードディスクのセットの調節

並列IDEのオリジナル1セットを除き、このマザーボードは最新シリアルATAハードディスクに支援します。作業システムで先にインストールしたシリアルATAハードディスクが見つけれない場合、BIOS settingを確認してください。単にBIOS settingを調節するより、それらを正常に動作させられます。

あなたのハードディスクを正確的にインストールした後、BIOS setting画面に入って調節できます。単に**“Integrated Peripherals → OnChip IDE Device → On-Chip Serial ATA”**を押すより、あなたの好きなモードを選択します。オリジナル・セットを変わるつもりがない場合、デフォルト・セットはAutoです。

The screenshot shows the Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility interface. The main menu is as follows:

- Standard CMOS Features
- Advanced BIOS Features
- Advanced Chipset Features
- Integrated Peripherals**
- Load Setup Defaults
- Load Turbo Defaults
- Set Password
- Save & Exit Setup

After selecting **Integrated Peripherals**, the sub-menu is:

- Po Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility Integrated Peripherals
- Pn OnChip IDE Device **Press Enter**
- Si SuperIO Device **Press Enter**
- Fr USB Controller Enabled
- USB 2.0 Controller Enabled
- USB Keyboard Support Auto
- Onboard Audio Codec Enabled
- Onboard LAN Control Enabled

After selecting **OnChip IDE Device**, the sub-menu is:

- Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility OnChip IDE Device
- *** On-Chip Serial ATA Setting ***
- On-Chip Serial ATA **Auto**
- x PATA IDE Mode Primary
- SATA Port SATA3,SATA4 Secondary
- Item Help
- Menu Level ▶

After selecting **On-Chip Serial ATA**, the sub-menu is:

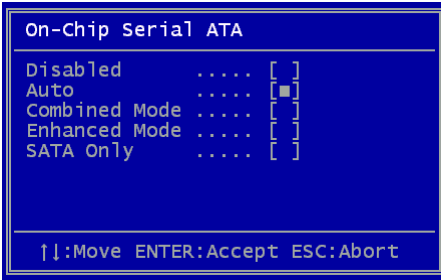
- *** On-Chip PATA Setting ***
- On-Chip Primary PCI IDE Enabled
- On-Chip Secondary PCI IDE Enabled
- Item Help
- Menu Level ▶

The help text for the On-Chip Serial ATA setting is:

[Disabled]: Disabled SATA Controller.
[Auto]: Auto arrange by BIOS.
[Combined Mode]: PATA and SATA are combined. Max.of 2 IDE drives in each channel.
[Enhanced Mode]: Enable both SATA and PATA. Max.of 6 IDE drives are supported.
[SATA Only]: SATA is operating in legacy mode.

At the bottom of the screen, the following keys are listed:

↑↓←→: Move Enter:Select +/-/PU/PD=Value F10:Save ESC:Exit F1:General Help
F2:Item Help F5:Previous Values F6:Setup Defaults F7:Turbo Defaults



デフォルト・セットを変更したい場合、Enter を押して選択リストに入ってください：

Disabled: システムに伝統的なIDEハードディスクだけがインストールした場合に、このアイテムを選択してください。このアイテムを不可能にすると、POSTをするときにシリアルATAハードディスクの測定も取消します。そして、そのポート・アップの速度も少しだけ速くなります。但し、この後にシリアルATAハード

ディスクを使いたいと、このセットをもう一度調節してください。

Auto: これはこのマザーボードのデフォルト・セットです。基本的に、あなたのシステムは正常に動作している場合に、これを変更する必要がないです。システムは自動的にPATA (IDE)を首位に認めます。

Combined Mode: 伝統的なIDEハードディスクとシリアルATAハードディスク同時にインストールする場合、このモードを選択してもいいです。このモードで、あなたは随機にIDEハードディスクかシリアルATAハードディスクをあなたの最初ポート装置に選択できます。但し、IDEはマッピングの方式でシリアルATAと存在します。それはシリアル・チャンネルの一つを使用し、一つしかシリアル・チャンネルを残しません。PATAモードが首位に設定されると、SATA3とSATA4は二位に設定されます。そして、PATAモードが二位に設定されると、SATA1とSATA2は首位に設定されます。

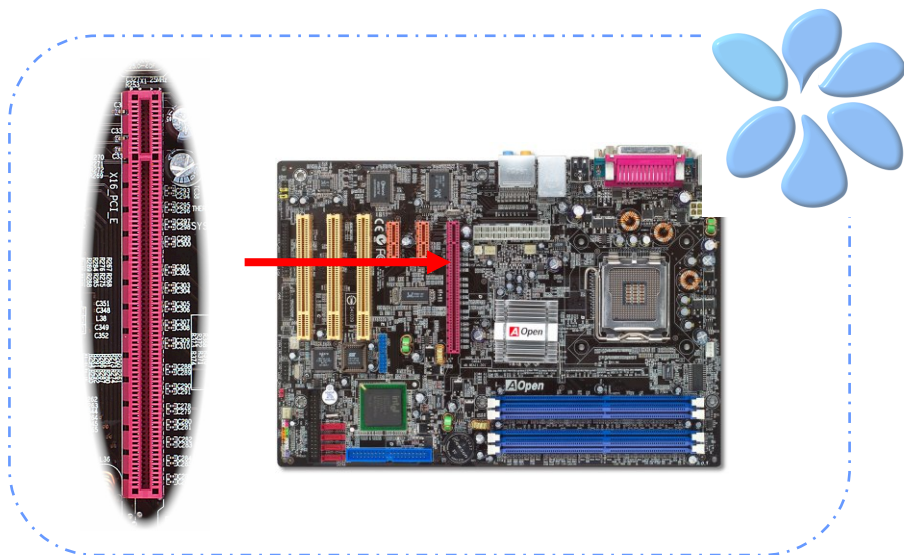
Enhanced Mode: あなたが最新版の作業システム(例えば、Windows XP, Windows.NET Server)を使う場合、Enhanced Modeを選択してお勧め致します。このモードで、システムは六つ装置(伝統的なIDE x 2とシリアルATA x 4)を全部監視し、正確的に動作します。しがし、このモードで、PATAモードは優先にセットすることをご注意してください。

注意: 実際的な実験室テストにより、Windows2000作業システムでこのモードを設定するときに、しかしながら、それはIntelに推奨されません。

SATAのみ: シリアルATAハードディスクだけをインストールする場合、このモードも選択できます。

PCI Express x16 Graphicsスロットの接続

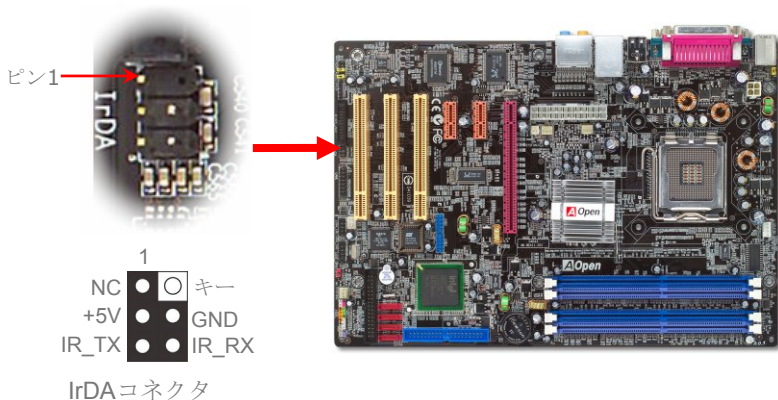
i915Ga-PLF / i915Pa-PLFはマザーボードで一つ最新PCI Express x 16規格を揃った赤いPCI Express x 16 Graphicsスロットを提供します。PCI Express x 16は高機能3Dグラフィックを目指すバス・インターフェースです。従来・AGPは8X AGPについて、66MHz clockの上がると下がる端を使って、データ転送率は2.1GB/sに達成できました。現在・PCI Express x 16はより高いデータ転送率・8.0GB/s (250MB/s x 16 x 2、各方向で4.0GB/s)に達します。i915Ga-PLFについて、PCI Express x16 Graphicsスロットは自動的にPCI Express x 16 GraphicsかMultiplexed Intel DVO Output、例えばPCI Express x 16 GraphicsかADD2 (AGP Digital Display 2)カードのどちらが挿入したのを区別できます。このスロットにADD2カードをインプリメントしたら、Multiplexed Intel DVO outputはデジタル・ディスプレイかTV-OUT機能性に高速デジタル接続を提供します。



IrDAの接続

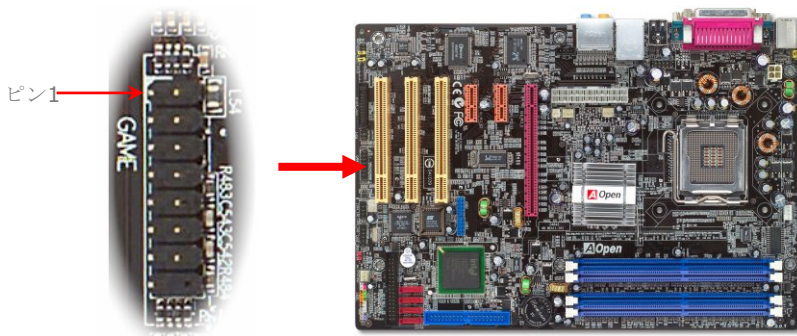
IrDAコネクタは無線赤外線モジュールに支援するに構成できます。このモジュールとLaplinkかWindows Direct Cable Connectionのような応用ソフトウェアで、ユーザはラップトップ、ノート、PDA装置とプリンターの間でファイルを移動できます。このコネクタはHPSIR (115.2Kbps、2メートル)とASK-IR (56Kbps)に支援します。

IrDAコネクタに赤外線モジュールをインストールし、BIOS Setup、UART Modeからその赤外線機能を可能にすると、この機能を利用できます。IrDAモジュールを挿し込むときに、正しい方向で接続したことを確認してください。



ゲームポートの接続

このマザーボードはあなたが任意メディア装置かジョイスティックを接続するためにあるゲームポート(Joystick-Midi)を搭載しています。この機能を使うために、あなたはあるジョイスティック。モジュールを持ち、それをゲームポート・ケーブルでマザーボードのこのポートに接続するものとします。



ピン1

	1	2	
+5V	●	●	+5V
JAB1	●	●	JBB1
JACX	●	●	JBCX
GND	●	●	MIDI_TXD
GND	●	●	JBCY
JACY	●	●	JBB2
JAB2	●	●	MIDI_RXD
+5V	●	○	キー
	15	16	

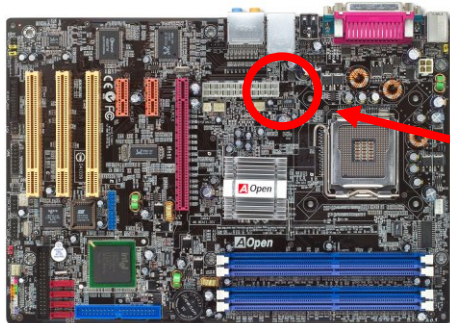
ゲーム・ポート・コネクタ



(ユーザ改良オプション)

ギガビットLANに支援

内蔵Realtekギガビット LANチップので、マザー・ボードは家用とオフィス用に10/100/1000Mbps イーサネットを提供します。イーサネットRJ45コネクタはUSB コネクタの上にあります。右側のLEDはつながるモードを示し、ネットワークに接続しているときに常に黄色で点けます。左側のLEDは転送モードを示し、データが100Mbpsで転送しているときに緑で点けます。(10Mbpsでは点けません)しかし、ギガビット・モードで転送しているときにオレンジで点けます。あなたは単にBIOSよりこれを調節するより、この機能を可能か不可能にすることはできません。



転送中(左)

緑100Mbps

オレンジ ギガビットモ

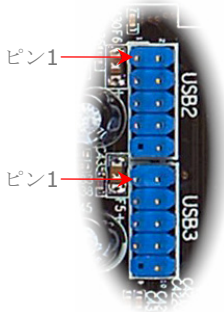


接続中(右)

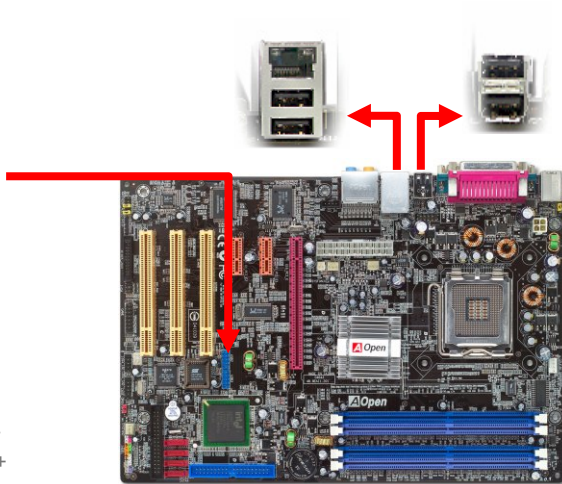
黄色

USB2.0の接続

このマザーボードはマウス、キーボード、モデム、プリンター等のUSB装置と接続するために、USB 2.0ポートを提供しています。後パネルで4つポートがあります。適切なケーブルで前USBコネクタをUSBモジュールかシャーシ前パネルに接続できます。

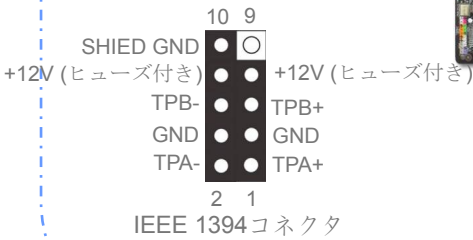
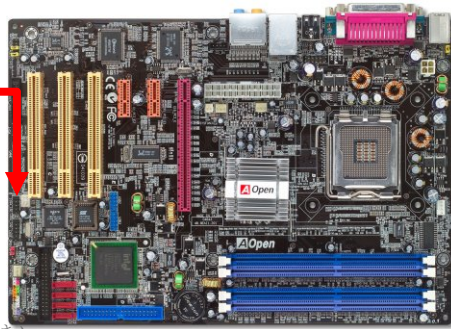
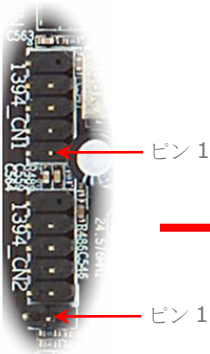


	1	2				
+5V	●	●	+5V			
SBD6-	●	●	SBD7-			
SBD6+	●	●	SBD7+			
GND	●	●	GND			
キー	○	●	NC			
	9	10				
	USBコネクタ					



1394の接続

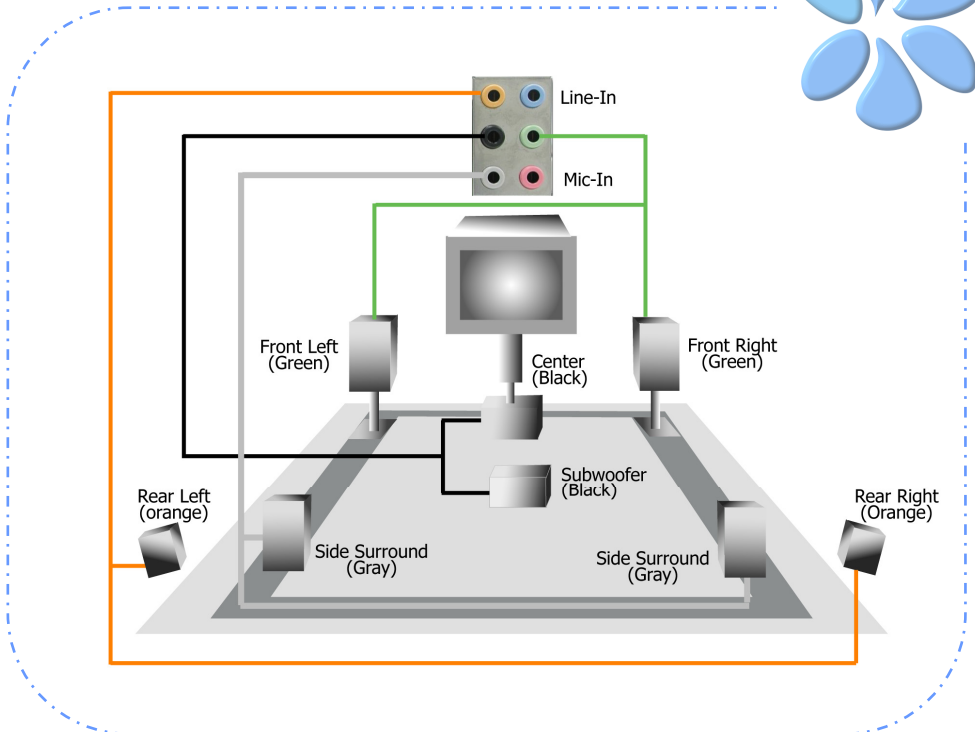
IEEE1394チップを搭載されAGERE 1394は、400Mb/sまでのデータ転送速度があり、このインターフェースはデジタル・カメラ、スキャナあるいは他のIEEE1394装置のようなより速いデータ転送速度を要求する装置に接続できます。適切なケーブルでIEEE1394装置に接続してください。



警告 : IEEE 1394ヘッダーでホット・プラグは許しません。そうすると、コントローラーICを燃やし、マザーボードを破損します。

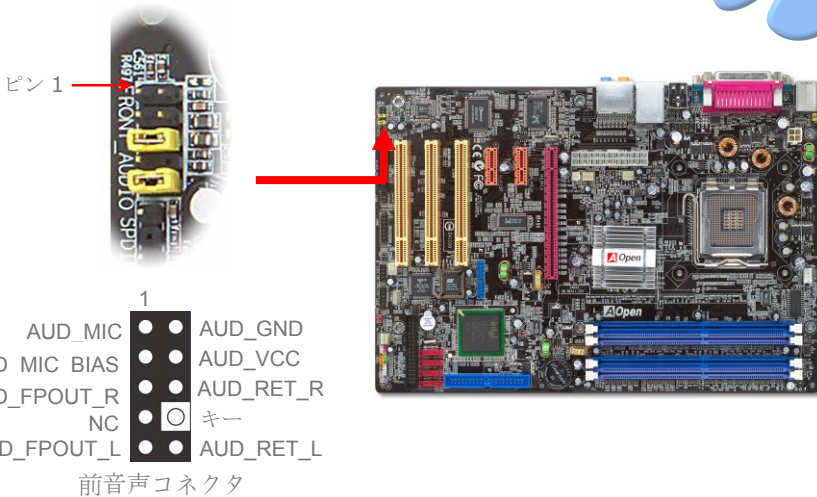
スーパー7.1チャンネルの音声効果

このマザーボードはAC'97 (Realtek ALC850) CODECを搭載し、高い音声効果の質がある最新7.1チャンネルにサポートし、あなたに新しい音声体験をもたらします。このマザーボードは下のように7.1チャンネル・ポートを提供しています。図はすべての7.1チャンネル音声トラックの標準位置を示します。あなたの前スピーカのプラグを緑色の“Speaker out” ポートに、後立体スピーカをオレンジポートに、側立体スピーカを灰色のポートに、中央とサブ低音スピーカを後パネルの黒いポートに接続してください。



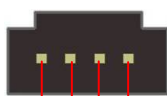
前音声の接続

ハウジングは前パネルで音声ポートを設計した場合、あなたはこのコネクタより内蔵音声
を前パネルに接続できます。この方法で、ケーブルを接続する前に、前音声コネクタから
5-6と9-10ジャンパー蓋を外してください。前パネルで音声ポートがない場合、必ず5-6
と9-10の黄色のジャンパー蓋を外しないでください。

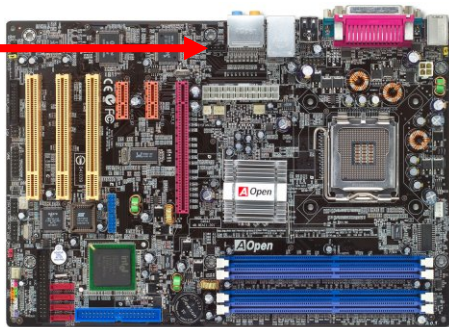


CD_INの接続

このコネクタはCDROMかDVDドライブから内蔵音声にCD Audioケーブルのために設計します。

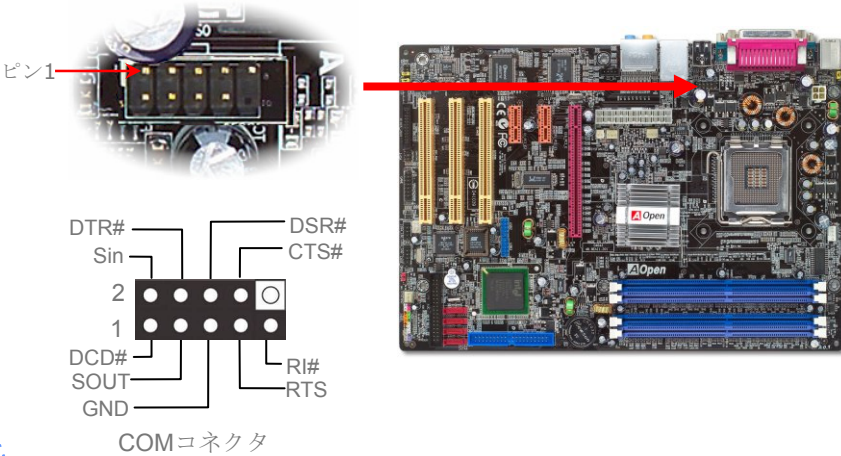


CD_INコネクタ



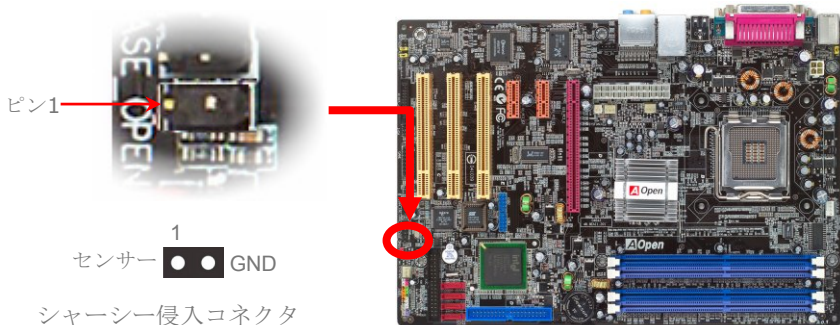
COM2の接続(i915Ga-PLFのみに)

i915Ga-PLFは2つシリアルポートを提供します。1つは黒いパネル・コネクタで、もう1つはCPUソケットの上部にあります。適当なケーブルで、これをシャーシの後パネルに接続できます。



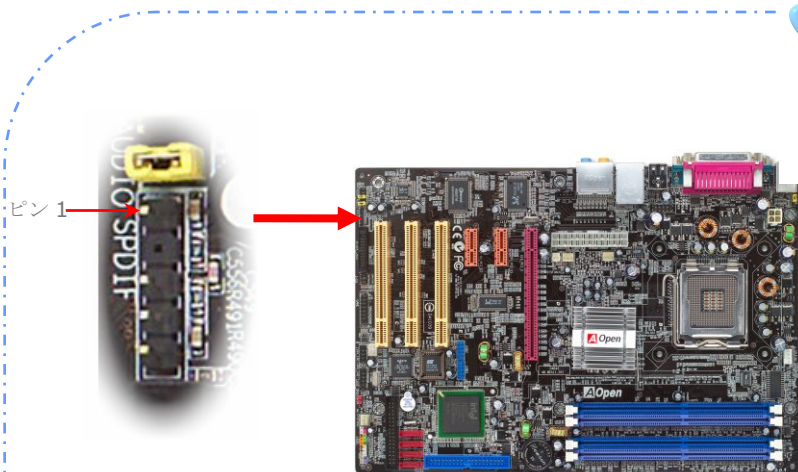
Case Openの接続

“CASE OPEN”ヘッダーはシャーシ侵入モニタリング機能を提供します。この機能を動作するために、システムBIOSでこれを可能にし、このヘッダーをシャーシのある所であるセンサーに接続しなければならないです。センサーが光かシャーシの開けることより誘発すると、システムはピーの音であなたを連絡します。この有用な機能はアドバンスト・シャーシに応用するのみにご注意ください。別センサーを購入し、それをあなたのシャーシに付け、この機能をよく利用してください。

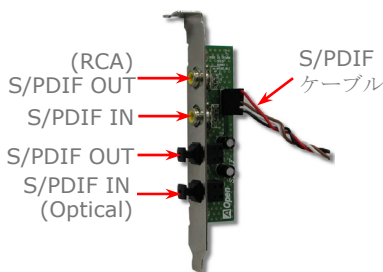


S/PDIFの接続(Sony/Philipsデジタル・インターフェース)

S/PDIF (Sony/Philipsデジタル・インターフェース)は最新音声転送ファイル・フォーマットであり、光ファイバーで印象的な音質を提供して、あなたにアナログ音声の代わりにデジタル音声を楽しむことを可能にします。特別な音声ケーブルを経由して、S/PDIFコネクタをS/PDIFデジタル出力を持つS/PDIF音声モジュールの他の端に接続できます。普通の場合に、図のように2つS/PDIF出力があり、1つはコンシューマー・オーディオ製品に使う最共通のRCAコネクタで、もう1つはよりよい音質を持つ光学的のコネクタであります。出力と同じに、あなたはRCAか光学的の音声製品をモジュールの入力コネクタに接続し、声か音楽があなたのコンピューターから出ることができます。しかしながら、この機能を最大出力にするために、S/PDIFデジタルス入力/出力を搭載するピーカー/アンプ/デコーダに支援するS/PDIFをS/PDIFデジタルス入力/出力に接続しなければならないです。



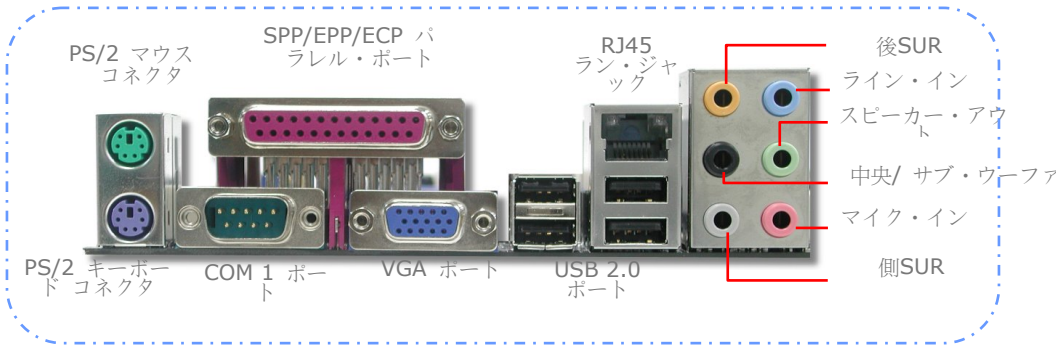
- +5V
 - キー
 - SPDIF OUT
 - GND
 - SPDIF IN
- 5
S/PDIFコネクタ



S/PDIF モジュール
(ユーザー・アップグレード・オプション)

色で塗り分けられた後パネル(i915Ga-PLFに)

内蔵I/O装置はPS/2キーボード、PS/2マウス、RJ-45 LANコネクタ、COM1、VGAポート、USB、AC'97音声と並列ポートを持ちます。ここで示した図はハウジングの後パネルからです。



PS/2 キーボード :

PS/2プラグを使う標準キーボード

PS/2 マウス :

PS/2プラグを使うPC-マウス

並列ポート :

SPP/ECP/EPPプリンターと接続のために

COM1 ポート :

ポインティング・デバイス、モデムか他のシリアル装置と接続のために

RJ-45 LAN ポート :

家庭か事務所でEthernetと接続のために

VGA コネクタ :

PCモニターと接続のために

USB ポート :

USB装置と接続のために

側SUR :

側立体スピーカーに

中央/サブウーファー :

中央とサブ低音スピーカーに

後SUR :

後スピーカーに

スピーカー・アウト :

外部スピーカー、イヤホンかアンプに

ライン・イン :

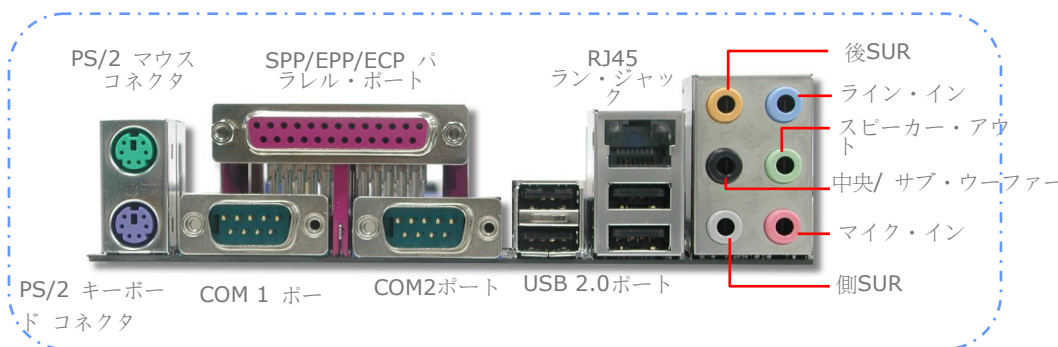
CD/Tapeプレーヤーのような信号出所から出る

マイク・イン :

マイクロホンに

Colored Coded Back Panel (i915Pa-PLFに)

内蔵I/O装置はPS/2キーボード、PS/2マウス、RJ-45 LANコネクタ、COM1、COM2ポート、USB、AC'97音声と並列ポートを持ちます。ここで示した図はハウジングの後パネルからです。



PS/2 キーボード:

PS/2プラグを使う標準キーボード

PS/2 マウス:

PS/2プラグを使うPC-マウス

並列ポート:

SPP/ECP/EPPプリンターと接続のために

COM1 / COM2 ポート:

ポインティング・デバイス、モデムか他のシリアル装置と接続のために

RJ-45 LAN ポート:

家庭か事務所でEthernetと接続のために

USB ポート:

USB装置と接続のために

側SUR:

側立体スピーカーに

中央/サブウーファー:

中央とサブ低音スピーカーに

後SUR:

後スピーカーに

スピーカー・アウト:

外部スピーカー、イヤホンかアンプに

ライン・イン:

CD/Tapeプレーヤーのような信号出所から出る

マイク・イン:

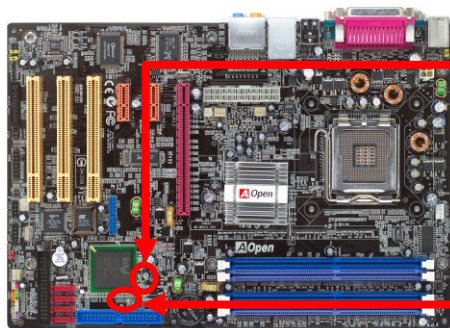
マイクロホンに

LED指示

LED指示はあなたにフレンドリーなシステム情報を提供するために、Aopenの設計であるStandby LEDとBOOT LEDを含みます。

STBY LED はパワーがマザーボードに供給しているときに点きます。それで、あなたはサスペンドからRAMモードに入るときに、パワー入れ/切り、stand-byモードとRAM電源状態のような環境で、システム電源状態を便利に指示します。

BOOT LED はシステムが電源を入るとPOST (Power-On Self Test)であるときに、明滅し続けます。POSTがすべて問題ないと診断してブートを終了した後に、LEDは点け続けます。POSTのときに誤りが生じる場合に、LEDは明滅し続けて、あなたに警告します。



STBY LED

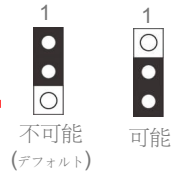
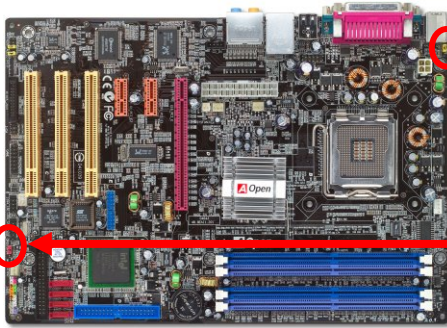


BOOT LED

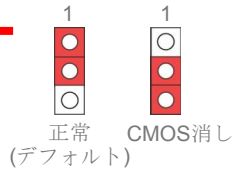
3.4 ジャンプ・セット

JP28キーボード/マウス
Wakeupジャンパ

このマザーボードはPS2キーボード/マウスwake-up 機能を提供します。



JP28 PS2 KB/マウス
Wakeup ジャンパ



JP14 CMOS消すジャンパ

JP14 CMOS消すデータ

システム・デフォルト・セッティングを保存するためにCMOS消すことができます。CMOSを消すに、下の手続きに従ってください。

1. システムの電源を切り、AC 電源を外してください。
2. コネクタ PWR3 から ATX 電源 ケーブルを移してください。
3. 数秒間で JP14 を置き、ピン 2-3 をショートしてください。
4. ピン 1 とピン 2 をショートするより、JP14 をその正常設置に戻してください。
5. ATX 電源 ケーブルをコネクタ PWR3 に接続してください。

第4章 特別機能とユーティリティー

4.1 他の有用な機能

研究開発チームの優れた設計能力で、AOpenは我社の製品の様々な強力で手軽な機能に自慢しています。それらの機能についての詳細情報は、私たちの技術的のウェブサイトを訪ねてください。 <http://english.aopen.com.tw/tech/techinside>



1MHz Stepping CPU



Serial ATA



IEEE1394



EzWin Flash



EzInstall



DieHard BIOS Lite



Dual Channel



Gigabit LAN



Hyper-Threading

第5章 BIOSのセット


5.1 紹介

システム・パラメーターはBIOS Setupメニューに入ることにより修正することができます。このメニューはシステム・パラメーターにコンフィギュレーションを行い、そのコンフィギュレーションを128バイトのCMOSエリア(普通はRTCチップかメンチップセットの中である)に保管できます。

マザーボードのFlash ROMでインストールしたPhoenix-Award BIOS™は工業標準BIOSの消費版です。BIOSはハードディスク・ドライブ、シリアルと並列ポートのよう標準装置に特別な低レベルのサポートを提供します。

Aopenの研究開発チームはこのマザーボードのBIOSセットを最適化しました。しかしながら、あるBIOSのデフォルト・セットはチップセットに操縦されるセクションを微調整できません。それで、本章はあなたをガイドし、ある他のセッティングにコンフィギュレーションを行うことに助けます。

POST (Power-On Self Test)の画面がモニターに顕れる時に、を押すよりBIOS setupメニューに入ります。

 **注意:** BIOSコードはマザーボードで一番よく変更する部分であるので、このマニュアルでのBIOS情報はあなたのマザーボードの内蔵BIOS版と違う可能性もあります。

5.2 Phoenix-Award™ BIOS Setupプログラムの使い方

矢キーで選択したいアイテムを強調し、<Enter>で選択し、<Page Up>と<Page Down>でセッティング値を変更します。<Esc>を押すよりPhoenix-Award™ BIOS setupプログラムから出られます。次の表はPhoenix-Award™ BIOS setupプログラムでのキーボードの詳しい使い方を示します。

キー	説明
Page Up か +	セッティングを次の値に変更するか値を増加する
Page Down か -	セッティングを前値に変更するか値を減少する
Enter	アイテムを選択する
Esc	メンメニューで：どんな変更も保存せずに終了する サブメニューで：現在のメニューからメンメニューに出る
Up 矢	前のアイテムを強調する
Down 矢	次のアイテムを強調する
Left 矢	ライト・バーをメニューの左側に移動する
Right 矢	ライト・バーをメニューの右側に移動する
F6	CMOSからデフォルト・セッティング値をロードする
F7	CMOSからターボ・セッティング値をロードする
F10	変更したセッティングを保管してセットアップ・プログラムから出る

5.3 BIOS セッティング・アップに入る方法

システム・デフォルト・セッティングを保存するためにCMOS消すことができます。CMOSを消すに、下の手続きに従ってください。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility

Del

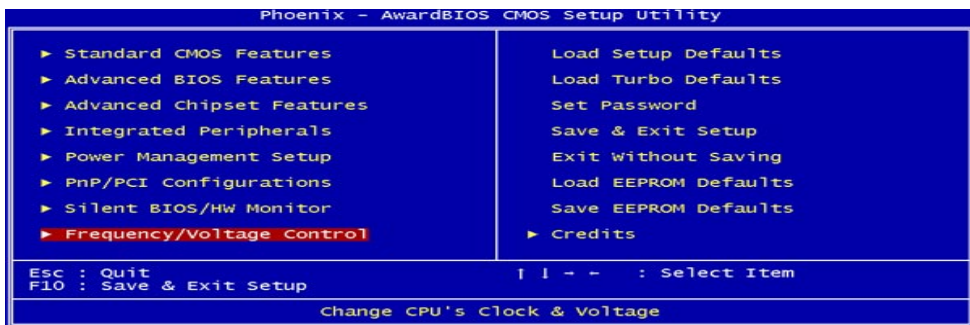
- ▶ Standard CMOS Features
- ▶ Advanced BIOS Features
- ▶ Advanced Chipset Features
- ▶ Integrated Peripherals
- ▶ Power Management Setup
- ▶ PnP/PCI Configurations
- ▶ Silent BIOS/HW Monitor
- ▶ Frequency/Voltage Control
- Load Setup Defaults
- Load Turbo Defaults
- Set Password
- Save & Exit Setup
- Exit Without Saving
- Load EEPROM Defaults
- Save EEPROM Defaults
- ▶ Credits

Esc : Quit
F10 : Save & Exit Setup | | - : Select Item

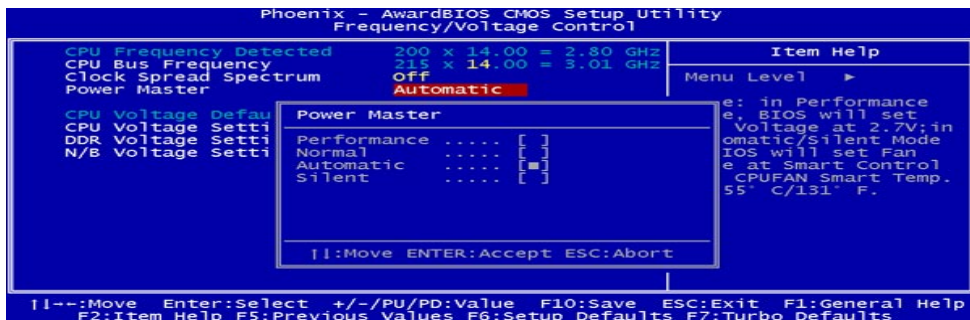
警告： あなたのシステム部品(CPU、RAM、HDDなど)はターボ設定に十分よいと確認する場合を除き、"Load Turbo Defaults"を選択しないで下さい。

5.4電源マスターの定義

コンピューターを起動してからDelボタンを押してください。そしてBIOSセッティングに入ります。BIOSセッティングに入ると、Frequency/voltage controlを選択して電源マスターをセットアップします。



BIOSセッティングを経由すると、3つモードが選択できます。Aopenの新しいマザーボードのデフォルトはAutomaticモードです。



Automaticモード

一旦このモードを可能にすると、電源マスターは自動的にあなたのプロセッサの真実ローディングを検知します。プロセッサのローディングが重いときに、電源マスターはあなたのプロセッサ時計周波数を上げてあなたの需要に満たします。これに反して、プロセッサが低いローディングの状態であるときに、電源マスターは時計周波数を下げて、プロセッサ・ファンの雑音を縮小します。



Performanceモード

一旦このモードを可能にすると、電源マスターは自動的にあなたのプロセッサの真実ローディングを検知します。このモードで、プロセッサの実行は常に最高になります。プロセッサのローディングが重いときに、それはあなたのプロセッサ時計周波数を上げます。これに反して、プロセッサは下げます。



Silentモード

一旦このモードを可能にすると、電源マスターは自動的にあなたのプロセッサの真実ローディングを検知します。あなたに最静かな作業環境を提供するために、このモードを選択できます。このモードで、プロセッサ時計周波数は低くなり、プロセッサ・ファンからの雑音は静かになるかもしれません。



Normalモード

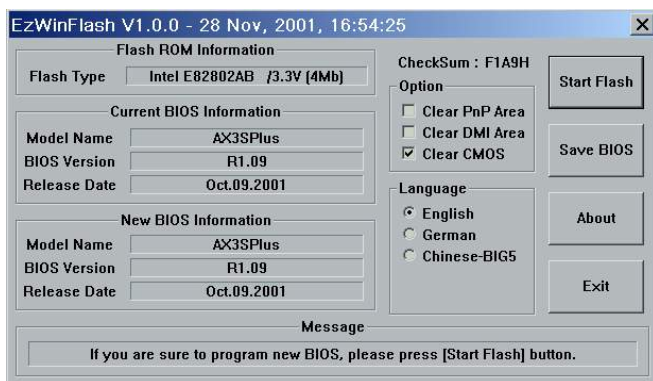
このモードを選択すると、電源マスターは止めます。プロセッサー時計周波数は常に原始速度に続けます。

5.5 Windows の環境でのBIOSのアップグレード



AOpenの顕著な研究開発能力で、我社はあなたに全新のBIOSフラッシュ・ウィザード--- EzWinFlashを持って来ます。ユーザの便利の点で、EzWinFlashは2進コードとフラッシュ・モジュールを兼ね備えます。あなたは只そのウェブよりダウンロードしたユーティリティをクリックし、それで自動的にフラッシュ・プロセスを完成します。EzWinFlashは任意の可能な失敗を防ぐために、マザーボードを監視し、BIOSバージョンを検査します。さらに、EzWinFlashはすべてあなたが使用する可能性があるwindowsプラットフォームを考慮しました。Windows 95/98、98SE/ME、NT4.0/2000かWindows XPでも問題なしに使えます。

ユーザー・フレンドリーな操作環境を提供するために、AOpen EzWinFlashは多重言語機能を設計して、ユーザーにBIOSセッティングを変更するにより簡単な方法を提供します。



警告: システムを更新するときに、あなたはBIOSフラッシュ失敗の危険を冒します。あなたのマザーボードが安定で動作し、次のBIOS版に修正する主なバグがない場合、あなたのBIOSをアップグレードしないとお勧めします。アップグレードしたい場合、可能な失敗を回避するために、必ずあなたのマザーボードに正しいBIOS版を得ることを確かめて下さい。

注意: このBIOS画面のモデル名前は参考のみです。あなたのマザーボードと同じではない可能性はあります。



次のステップより、EzWinFlashでBIOSアップグレード手続きを完成できます。あなたがアップグレードを起動する前に、そのSTRONGLY RECOMMENDEDで、すべてのアプリケーションを閉じて下さい。

Aopenウェブサイト（例えば：<http://english.aopen.com.tw/>）からBIOSパッケージzipファイルの最新版ダウンロードします。

ダウンロードしたBIOSパッケージ(例えば： WSGMAXII102.ZIP)をWindowsの環境でWinZip (<http://www.winzip.com>)でunzipしてください。

そのunzipしたファイル(WSGMAXII102.EXEとWSGMAXII102.BIN)例えば：をあるフォルダに保管してください。

WSGMAXII102.EXEを二回クリックしてから、EzWinFlashはあなたのマザーボードのモデル名前とBIOSパッケージを検知します。BIOSが間違った場合、フラッシュ・ステップは進められません。

メンメニューで好みの言語を選択できます。そして、[Start Flash]をクリックするよりアップグレード手続きを起動します。

EzWinFlashは自動的にすべてのプロセスを完成します。そして、あるダイアログ・ボックスがポップアップしてあなたにWindowsを再起動することを要求します。[YES]をクリックするよりWindowsを再ブートします。

POSTでを押すよりBIOS setup画面に入ります。"Load Setup Defaults"を選択してから"Save & Exit Setup"してください。

FLASH PROCESSの間に、必ず電源を消さないで、あるいは任意のアプリケーションを行わないで下さい。



警告:点滅するときに、新しいBIOSアップグレードは永久にあなたの初期BIOSセッティングを置換します。あなたはシステムが正常に動作し戻す前にBIOSセッティングを再コンフィギュレーションする可能性があります。

5.6 Vivid BIOS技術



保守的と不変のPOSTスクリーンにうんざりしましたか。OSTスクリーンは困難で固苦しいという伝統的な感覚を排除してください。Aopenは最新発展したVividBIOSで、あなたに活発で、鮮明で多彩なPOSTスクリーンを経験させます。

POSTの間に全スクリーンとマスクテキスト情報を占有する早期のグラフィックPOSTスクリーンと違って、AOpen VividBIOSはグラフィックとテキストを分別で処理し、POSTの間に同時に実行します。この革新的な設計で、VividBIOSはPOSTスクリーンで、任意の重要な情報を逃さずに、綺麗で滑らかな256色のスクリーンを実現します。

さらに、BIOS ROMの有限な空間はもう一つ大話題です。従来のBIOSはスペース消耗と無圧縮Bitmapを示すときに、AopenはBIOSを小型のGIFフォーマットおよび動態GIFアニメのような次世代に移すことを考えました。



Vivid BIOSはOpen JukeBox CD Playerと同じ基本の技術を共有します。あなたは同じEzSkinユーティリティであなたのVividBIOSスクリーンを変更し、あるいはあなたの好みのOpen JukeBox skinをダウンロードできます。このロゴがマザーボード・ダウンロード・ページ <http://english.aopen.com.tw/tech/ezskin/vivid.htm> であなたのモデル名前以外に顕れた場合、あなたのマザーボード がこの革新的な機能にサポートするかもしれません。

第6章 ドライブのインストール



それらのインストール・ウィザードとステップバイステップで、ドライバーとユーティリティのインストールは繰り返されたタスクと思うかもしれませんが、現在、あなたはEzInstallの容易さに驚きます。ウィザードかステップがなくて、単に一クリックで、全部が完成します。はい、EzInstallはインストールを容易にして、極めて簡単にします！

CDを入れた後にはAOpen歓迎ページおよび我社の支店情報です。

まず、必要のドライバーに、左側のインストール・ドライバー・アイコンをクリックしてください。

次に、好みのユーティリティに、左側のインストール・ユーティリティ・アイコンをクリックしてください。

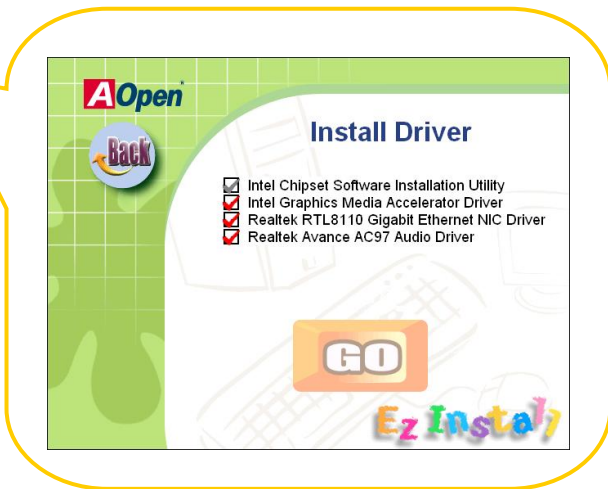
そして、全部が終了します。あなたはより多くの情報を得るために、CD内容とリードミーを拾い読みできます。あるいはCDインストレーションから出ます。

The screenshot shows the AOpen EzInstall Welcome screen. The main content includes the AOpen logo, a 'Welcome' message, and contact information for AOpen Computer GmbH, AOpen America Inc., AOpen Japan Inc., and AOpen International Co., Ltd. The screen also features a sidebar with icons for 'Driver', 'Utility', 'Browser', and 'Readme'. Callouts point to these icons and other elements:

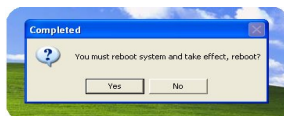
- ドライブをインストールする (Driver installation)
- ユーティリティをインストールする (Utility installation)
- ブラウザ (Browser)
- リードミー (Readme)
- CDから出る (Exit from CD)
- クリックするよりオンライン・マニュアルをインストールする (Install online manual instead of clicking)
- AOpen支店情報 (AOpen branch information)

6.1 ドライブのインストール

インストール・ドライバー・ページから見るように、EzInstallはあなたのマザーボードに必要なのを拾い上げました。一切ステップがなしに、単に“GO”をクリックして、全部のリストしたドライバーを完成します。灰色の矢は必要なドライバーと示し、それらを消すことはいけません。赤い矢は現在にインストールしたくない場合に、不可能にすることはできません。



アイコンを押すと、“Install Driver”ページはプロンプトします。“Back”を押してメン・ページに戻されます。



“GO”を押すと、EzInstallは自動的にインストール手続きを実行し、ある再ブート・ダイアログをプロンプトします。(あるドライバーかユーティリティーは再ブート部分を省略します)。



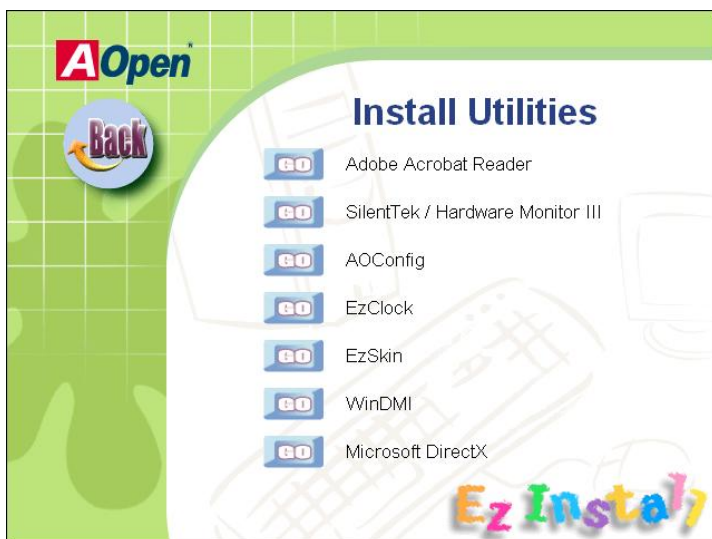
注意: Intelチップセット・ドライバの制限で、音声ドライバを正確にインストールするために、Windows 2000はservice pack 4にアップグレードしなければならないです。

6.2 ユーティリティのインストール

ユーティリティのインストールは、ドライバーのインストールと實質上に同じです。Aopenはあなたのシステムを管理するために、沢山の使いやすく強力なユーティリティを提供します。ここに沢山の素晴らしいユーティリティを発見できます。複雑なステップがなしに、単に**“GO”**をクリックして、それがすぐにユーティリティをあなたのシステムにインストールします。



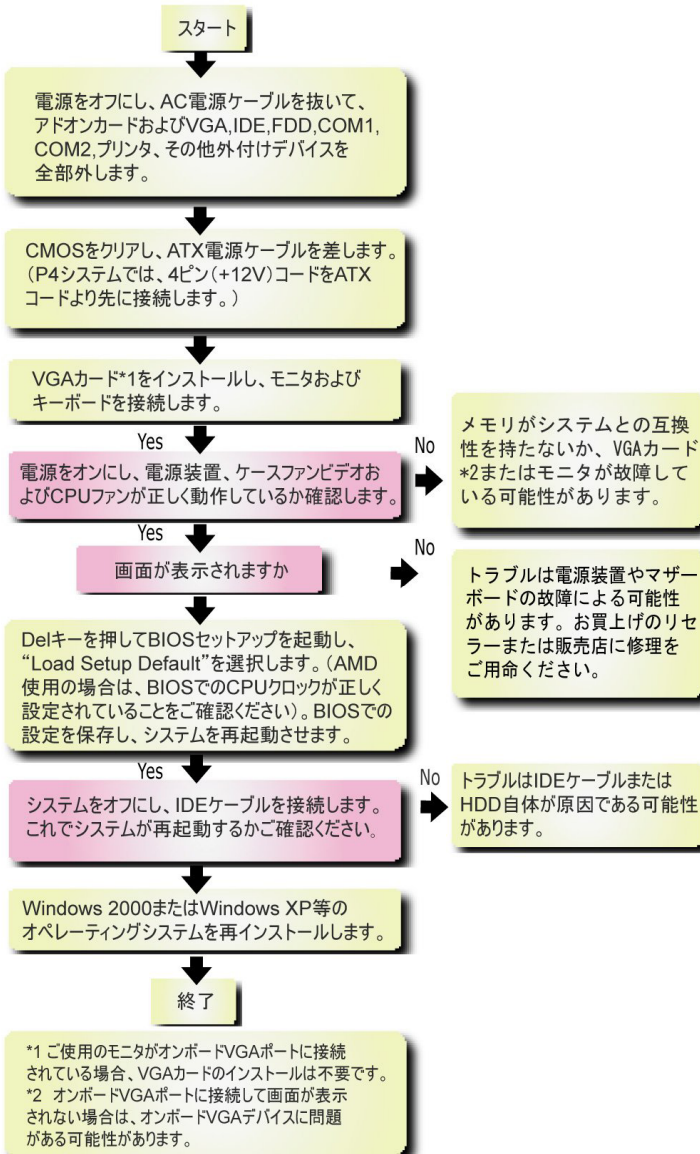
アイコンを押すと、あなたの選択に**“Install Utilities”** ページはプロンプトします。**“Back”**を押してメン・ページに戻されます。



第7章 トラブルシュート



TroubleShooting



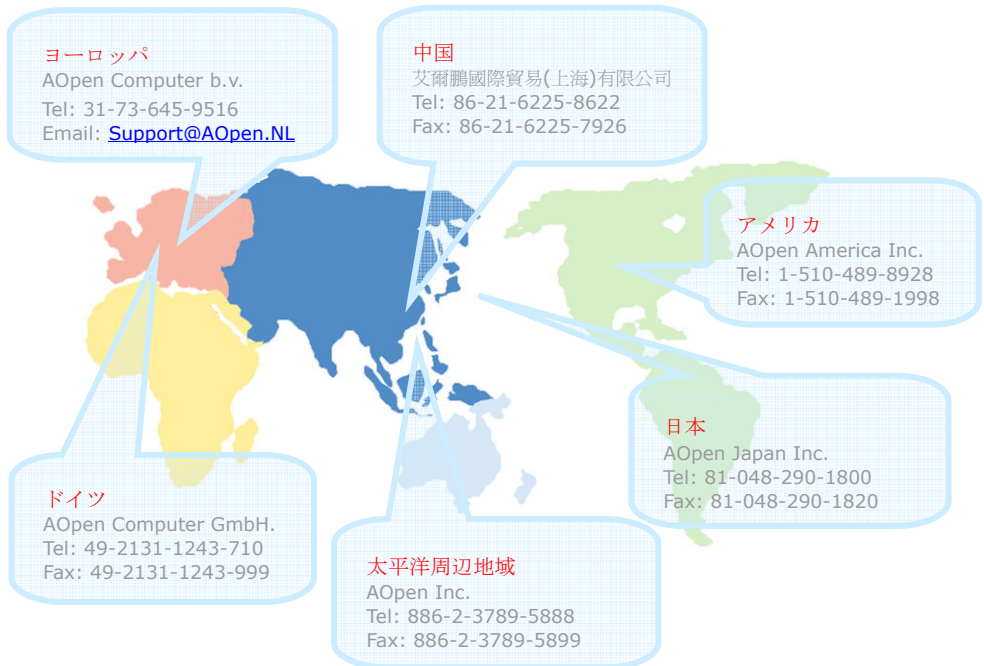
Chapter 8 Technical Support

お客様へ、

Aopen をお買い上げいただきありがとうございます。良いサービスを確保するために、<http://www.aopen.com> で登録し、Aopen クラブの金メンバーになりお勧めです。各お客様に最良のサービスを提供するために、下の手続きに従い、お買い上げ地域の支店にご相談下さい。あなたの協力の上、各お客様に効率的なと最良のサービスを提供し続けられます。

ご了解いただきありがとうございます！

Aopen技術サポートチーム



ヨーロッパ: Support@AOpen.NL

太平洋周辺地域: <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

中国: <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

ドイツ: <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

アメリカ: <http://usa.aopen.com/tech/default.htm>

日本: <http://aopen.jp/tech/index.html>

Model Name and BIOS Version

モデル名前およびBIOSバージョンはブート画面(POST画面)のより上の左隅で見つけられます。例えば：



i915Ga-PLFはマザー・ボードのモデル名前；R1.02はBIOSバージョン

あなたのマザー・ボードを登録

Aopenお買い上げいただきありがとうございます。このマザー・ボードを<http://club.aopen.com.tw/productreg/>で登録し、AOpen クラブの会員に成り、AOpen より良いサービス品質を確保して下さい。さらに、スロットマシンゲームでAOpenから入賞機会を得られます。始まる前に次の資料を用意してください：**モデル名前、部番(P/N)、通し番号(S/N)と購入日**。部番と通し番号はバーコード・ラベルで印刷しています。外包装かPCBの部品側からこのバーコード・ラベルを見つけることができます。例えば：



部番

通し番号

P/N: 91.88110.201は部番、**S/N: 91949378KN73**は通し番号

Phoenix賞BIOSエラー・メッセージ

ビープ音	メッセージ
1 短音(ビープ)	システムブートは正常
1 長音 - 1 短音(ビープ)	DRAMエラー
1 長音 - 2 短音(ビープ)	ディスプレイカードまたはモニターの接続は間違い
1 長音 - 3 短音(ビープ)	キーボードエラー
連続長音(ビープ)	DRAMは正確的に挿入していない



Technical Support

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログオンに必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイーजीインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。

<http://aopen.jp/tech/report/index.html>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログオンに必要な言語を指定してから問題の解決方法を見てください。

<http://aopen.jp/tech/faq/index.html>

ソフトウェアのダウンロード：ログオンして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログオンしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。

<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。